

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の推進について  
(第2次)」令和元年度地震(長期予測)部会

場所：東京大学地震研究所2号館2階第2会議室

日時：2020年2月27日(木) 11:00~17:00

・プログラム

- 11:00~11:05 趣旨説明(部会長)
- 11:05~11:20 主要活断層帯から生じる連動型地震の古地震学的研究(産総研 近藤久雄  
代理・吾妻崇)
- 11:20~11:35 活断層データベースの整備(産総研 吾妻崇)
- 11:35~11:50 変動地形学的手法による内陸地震発生モデルと活断層長期評価手法の再検討(名大  
鈴木康弘)
- 11:50~12:05 地震関連史料に基づく近代以前の地震活動の調査(東大地震研 西山昭仁)
- 12:05~13:10 昼食
- 13:10~13:25 津波堆積物情報の高度化と実践的活用に関する研究(北大 西村裕一)
- 13:25~13:40 沿岸巨礫を用いた古津波評価法の検討：南海トラフ~琉球海溝の連動可能性評価に向け  
て(東大理 後藤和久)
- 13:40~13:55 海溝型巨大地震の履歴とメカニズム解明&津波浸水履歴情報の整備(産総研 宍倉正展)
- 13:55~14:10 南西諸島海溝におけるプレート間固着状態の解明(名大 田所敬一)
- 14:10~14:25 南海トラフ域におけるプレート間固着・滑りの時空間変化の把握(名大 田所敬一)
- 14:25~14:40 プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の広域的な把握(国土地理院 小沢慎三郎)
- 14:40~14:55 休憩
- 14:55~15:10 測地観測データに基づく内陸地震長期評価手法の開発(京大防災研 西村卓也)
- 15:10~15:25 物理モデルと地形・地質学およびテクトニックな観測データを統合した地震発生の長期  
予測手法の開発と検証(東大理 安藤亮輔 部会長代読)
- 15:25~15:40 地震発生帯モデリング研究(JAMSTEC 飯沼卓史)
- 15:40~15:55 巨大地震による潜在的ハザードの把握に関する研究(防災科研 齊藤竜彦)
- 15:55~16:10 地震・津波予測技術の戦略的高度化研究(防災科研 汐見勝彦)
- 16:10~16:25 地震発生予測のための島弧-海溝システムの観測-モデリング統合研究(東大地震研  
篠原雅尚)
- 16:25~17:00 討論